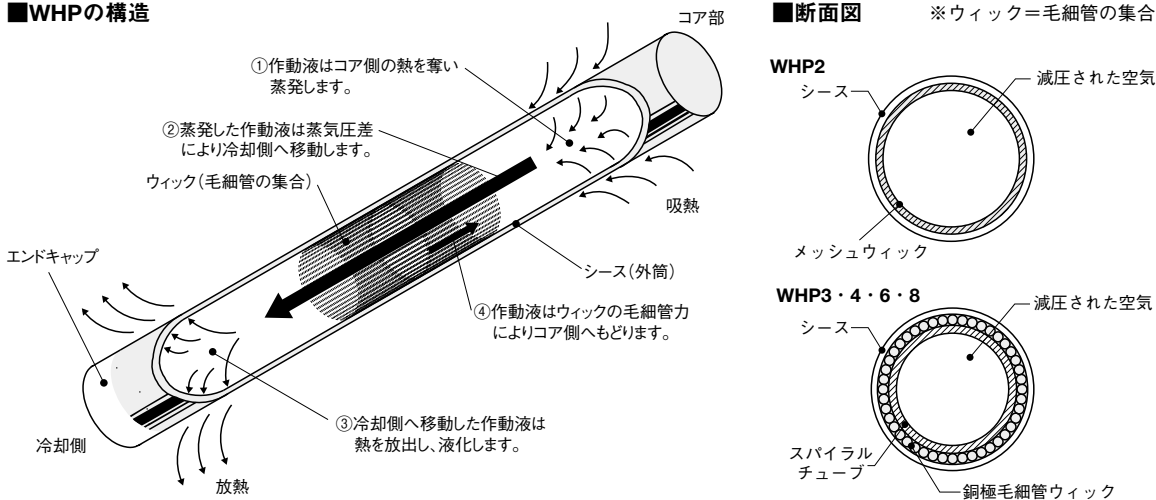


熱交換パイプ 概要

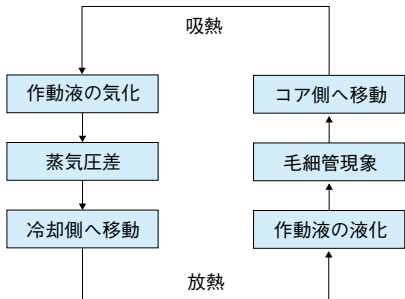
■熱交換パイプWHPの特長

1. 高い冷却効果
WHPは、熱伝導ではなく作動液を熱交換媒体として利用したものです。そのため銅棒に比べ200倍もの熱伝導性と、すぐれた熱応答性を発揮します。
2. 安定した冷却効果
従来の方法(パッフル板や冷却パイプを使用)のように、サビや水アカによる水流減少による冷却効率の低下が少なく、沸騰現象の心配もありません。そのためメンテナンスも軽減できます。

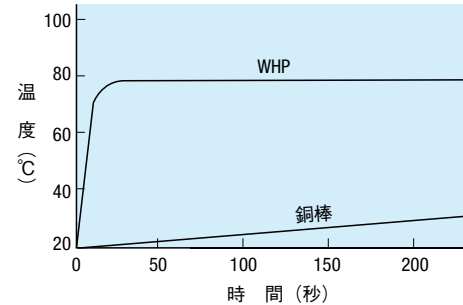
■WHPの構造



■熱交換パイプの動作サイクル



■熱応答性



〈試験条件〉
・加熱媒体：温水(80℃)
・冷却媒体：空気(室温)
・加熱部：冷却部=1:1
・测温位置：冷却部
・パイプサイズ：φ4 L 105

■ご使用上の注意点

- ①使用温度は200℃以下でご使用ください。(破損温度250℃)
WHPの耐久性は内部圧力20kgf/cm²以下で設計されています。
(ex.200℃で内部圧力16kgf/cm²まで昇圧)
- ②冷却面積が少ない場合、本来の冷却効果が得られないことがあります。取付加工方法を参考に、水冷ジャケットを設け、冷却面積を確保してください。
- ③分解・切断しないでください。
- ④曲げたりつぶしたりすると機能が低下します。
- ⑤油温調での使用は避けてください。

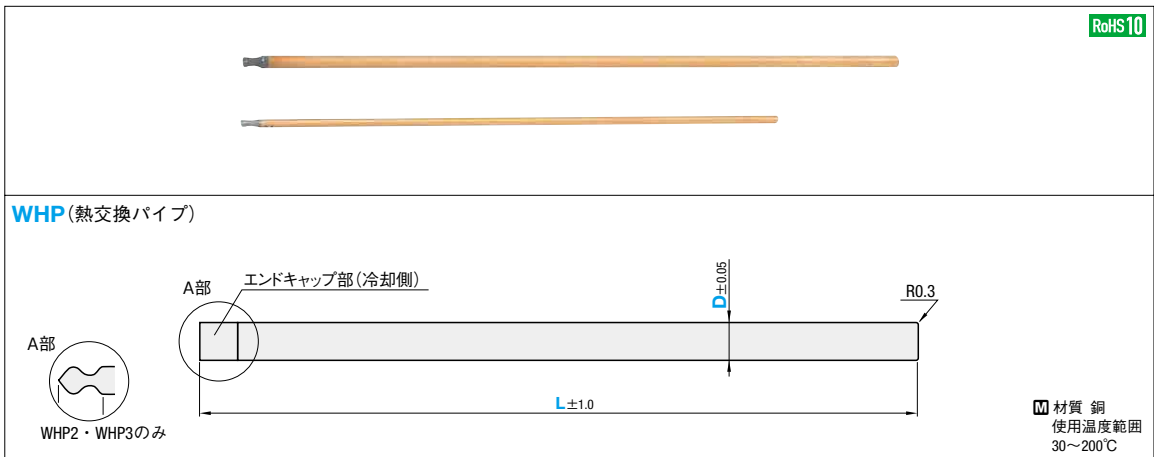
■熱伝導性

型 式		L								単位 kcal/h	
Type	D	35	40	45	50	55	60	65			
WHP	2	16.5	15.5	14.5	13.5	12.5	11.6	11			
	3	—	36.5	35.4	34.5	33.6	32.6	31.8			
	4	—	—	—	110	101	93	86.2			
	6	310	280	250	230	210	192	175			
	8	420	380	340	310	280	260	240			

型 式		L								単位 kcal/h	
Type	D	75	85	105	125	145	165	205	225		
WHP	2	9.5	8.2	6	5.6	5.2	—	—	—		
	3	30	28	25.8	23.2	20.6	—	—	—		
	4	80.8	74.7	68.8	61.9	53.3	41.7	37.8	37.0		
	6	160	145	130	118	109	102	95	89		
	8	221	203	180	—	—	—	—	—		

HEAT TRANSACTION PIPES / GREASE FOR HEAT TRANSACTION PIPE

熱交換パイプ／熱交換パイプ用グリス



型 式		L													
Type	D	35	40	45	50	55	60	65	75	85	105	125	145		
WHP	2	35	40	45	50	55	60	65	75	85	105	125	145		
	3	40	45	50	55	60	65	75	85	105	125	145			
	4				50	55	60	65	75	85	105	125	145	165	205
	6	35	40	45	50	55	60	65	75	85	105	125	145	165	205
	8	35	40	45	50	55	60	65	75	85	105				

MTJ(熱交換パイプ用グリス)



■熱交換パイプ用グリスの特長

- ①WHPへの熱伝導性を高めます。
- ②WHP着脱時の潤滑剤としても効果を発揮します。

■仕様

- 使用温度範囲：0℃～+200℃
- 内容量：100g
- 液色：白



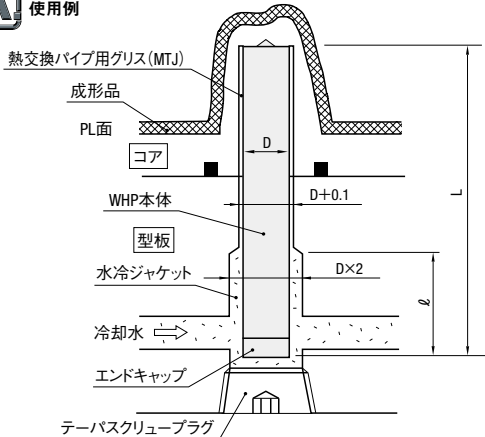
型 式 — L
WHP 3 — 105
MTJ



在庫品



キャビティー



■取付加工方法

- ①WHP取付穴径はD+0.1としてください。
- ②以下を目安に水冷ジャケットを設けてください。
深さ(ℓ) → L/3以上
穴径 → D×2以上
- ③WHPを金型に挿入する際には熱交換パイプ用グリス(MTJ)を塗布することをお奨めします。
- ④WHPはエンドキャップが冷却側になるように挿入してください。